

P-A-8

ペパーミントエキス含有食品のアトピー性皮膚炎に対する作用

Effect of Peppermint Extract Component Food for Atopic Dermatitis

○青木 洋満¹⁾, 長尾 淳二¹⁾, 金 英寿¹⁾, 藤村 勝行¹⁾,
上田 太郎¹⁾, 長谷川義博²⁾

1) 小林製薬株式会社 研究開発カンパニー, 2) 長谷川皮フ科医院

Many of atopic dermatitis patients do not like drug therapy. Therefore, we investigated to see if the food containing peppermint extract, can work for atopic dermatitis patients. As a result, the feeling and skin symptom were improved. So, we found out that peppermint extract is effective for the treatment of atopic dermatitis.

【目的】

アトピー性皮膚炎は増悪, 寛解の繰り返しを特徴とする。治療は長期の薬物摂取が必要とされることが多い。一方, ステロイド剤をはじめとするアトピー性皮膚炎治療薬物は副作用の懸念があるため, 長期の薬物摂取を嫌う患者も少なくない。そこでこれらの問題を解決すべく, 日常摂取可能な食品を用いたアトピー性皮膚炎症状の改善について検討を行なった。すなわち, アトピー性皮膚炎モデルマウスに対する効果が認められているペパーミントエキス含有食品のヒトに対する臨床効果について検討を行なった。

【方法】

被験者は軽度～中等度アトピー性皮膚炎患者で症状が安定している男女27名とした。実験食には実験食①(1日量 ペパーミントエキスパウダー306.0mg, 黄杞葉エキスパウダー82.8mg, テアニン48.0mg, セラミド糖脂質含有米胚芽油パウダー12.0mg含有丸形錠剤)及び実験食②(1日量 ペパーミントエキスパウダー120.0mg, 黄杞葉エキスパウダー210.0mg, テアニン50.0mg, セラミド糖脂質含有米胚芽油パウダー20.0mg含有丸形錠剤)を用い, 4週間服用させた。初期及び試験終了後に, 医師の診断並びに被験者の自覚症状に関するアンケートを実施することにより評価した。なお, 全ての試験はヘルシンキ宣言を遵守し実施した。

【結果】

すべての被験者において副作用の発現及び症状の増悪は見られなかった。医師の診断において, 実験食①では15例中やや改善10例, 不変5例でやや改善以上66.7%, 実験食②では12例中やや改善8例, 不変4例でやや改善以上66.7%であった。また, 被験者の自覚症状に関するアンケートにおいては, 実験食①では15例中改善の自覚症状あり2例, ややあり7例でややあり以上60.0%, 実験食②では12例中改善の自覚症状あり1例, ややあり4例でややあり以上41.7%であった。

【結論】

今回の結果から, ペパーミントエキス含有食品は, アトピー性皮膚炎の症状改善に有用である可能性並びに, 自覚症状軽減によりQOLを向上させる可能性を有することが示唆された。